

# Slack ログ収集アプリ要件定義書

作成日 2022年11月30日

- Slack ログ収集アプリ要件定義書
  - 1. 概要
  - 2. 目的
  - 3. 機能要件
    - 3.1. ログの収集
    - 3.2. ファイル出力
    - 3.3. GUI レイアウト
  - 4. 非機能要件
    - 4.1. 実行環境
    - 4.2. 配布形式
    - 4.3 データベース

## 1. 概要

業務で使用する slack チャンネルのログを収集するアプリに関する仕様を規定する。

## 2. 目的

slack のフリープランは 2022 年 9 月から、メッセージが過去 90 日分しか閲覧できなくなるよう改悪された。そのためメッセージが消える前に過去ログを収集し蓄積できるようなアプリを開発する。

## 3. 機能要件

### 3.1. ログの収集

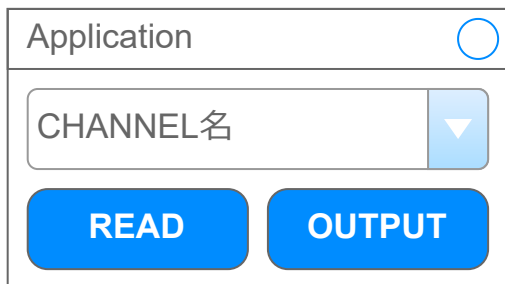
任意のパブリックチャンネルまたはプライベートチャンネルにあるログを slackAPI を使って取得し、ユーザーのローカル環境にあるデータベースに保持する。収集対象のデータは下記表の通り。

投稿日時	投稿者名	メッセージ内容	リプライ情報
------	------	---------	--------

## 3.2. ファイル出力

ユーザーのローカル環境にあるログ収集データベースにあるログデータを csv 形式で出力する。

## 3.3. GUI レイアウト

A diagram of a GUI application window. The window has a title bar with the text "Application" and a close button (a circle with a dot). Below the title bar is a label "CHANNEL名" next to a dropdown menu with a downward arrow. At the bottom of the window are two blue buttons with white text: "READ" and "OUTPUT".

- チャンネル選択コンボボックス  
対象のチャンネルを選択する。
- READ ボタン  
押下すると選択されたチャンネルのログを読み込み、データベースに格納する。
- OUTPUT ボタン  
押下するとユーザーローカルにあるデータベースファイルに格納されてある中で、選択されたチャンネルのログを csv 形式で出力する。

## 4. 非機能要件

### 4.1. 実行環境

OS	windows を想定
ネットワーク	繋がっていること
PC スペック	一般的であること

### 4.2. 配布形式

exe 形式で配布し、スタンドアローン化する。またデータベースファイル(.db)は初回起動時に exe ファイルと同階層に作成される。

### 4.3 データベース

データベースは SQLite を使用する。このデータベースファイルを紛失すると復旧不可能になる。